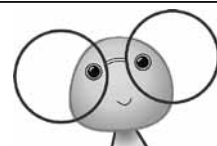


# OPT・NEWS



発行 愛知県眼鏡小売商協同組合

発行人 平岩幸一 編集人 鈴木雅博



## 第30回 東海眼鏡フォーラム開催

### 「眼鏡作製技能士誕生に伴う新団体設立について」

#### 日本眼鏡関連団体協議会 代表幹事 白山聡一氏が講演

東海地区の眼鏡関係団体の有志で集う東海眼鏡協議会（平岩幸一代表幹事）主催の第30回（通算第37回）東海眼鏡フォーラムが10月4日午後2時から名古屋市中区栄の東京第一ホテル錦2階「ブリランテ」で開催されました。

当組合の宇佐美太郎副理事長の司会で開会。はじめに東海眼鏡協議会平岩代表幹事が「眼鏡作製技能士誕生にともなって、新団体である一般社団法人日本メガネ協会が設立する。本日は白山日眼協代表幹事と木方技術者協会会長にお話しいただき、じっくり聴講を」と挨拶を述べました。



挨拶する平岩代表幹事

#### 「プロダクト・アウトからマーケットインの業界に」

講演会第1部では、眼鏡作製技能士と技能士が在籍している小売店を一般生活者へ認知促進と国民の支持が得られる啓蒙活動を行う新団体「日本メガネ協会」の設立について、日本眼鏡関連団体協議会 代表幹事 白山聡一氏、日本眼鏡技術者協会会長 木方伸一郎氏が解説しました。白山氏から「プロダクト・アウトからマーケットインに進むべき」として、設立の背景や目的、運営などについて説明がなされ、日本メガネ協会設立のロードマップが示されました。

また設立の背景について、業界を代表する団体として個人店・大手チェーン店・すべての業態小売店、メーカー・卸売業など、業界一丸の体制が求められることを挙げました。

日本メガネ協会の組織は、眼鏡作製技能士会と小売店会員・賛助会員からなり、同協会の眼鏡作製技能士はすべて眼鏡作製技能士会に自動入会。同協会は、来年4月の臨時社員総会開催後の本格始動を目指す。



新団体について説明をする白山代表幹事（右）と木方会長（左）

## レンズ会社、機器メーカーの最新情報

第一部講演会の後休憩を挟み、講演会第2部、第3部が開講されました。各講演では、レンズ会社4社と機器メーカー2社より、各社の最新ニュースがプレゼンテーションされ、各社製品情報や取り組みなどスライドを使い紹介されました。



講演を拝聴する参加者

### 講演会 第二部

#### 「レンズ会社、機器メーカーの最新情報」

##### ①「お客様にお応えするインディビジュアルレンズのご紹介」

セイコーオプティカルプロダクツ(株)

シニアレンズエキスパート 高橋 永 氏

##### ②「高加入度対策の決定版！人生100年時代を快適にする老眼対策レンズ『ロハス100(ハンドレッド)』」

(株)ニコン・エシロール

日本ビジネス本部マーケティング部

プロダクトマネージャー 野島 裕子 氏

##### ③「ニューロセレクトについて」

東海光学(株)

レンズエキスパートセールス 小林 宗雄 氏

##### ④「individualレンズの進化と販売のポイント」

HOYA(株)ビジョンケアカンパニー

レンズエキスパート 長谷川 洋一 氏

### 講演会 第三部

#### 「機器メーカー2社の最新ニュース」

##### ①「新しい視力測定システム」

(株)トプコン・エシロールジャパン

営業推進部 橋本 啓太 氏

##### ②「レンズコーティングと機能性メガネ」

(株)ニデック

コート事業部営業部コンシューマー課

課長兼営業推進課課長 高橋 大 氏

## 眼鏡感謝祭厳かに

眼鏡感謝祭が2022年10月4日(火)午前11時より熱田神宮境内の眼鏡碑前で、平岩理事長はじめ組合員ら8名が参列し執り行われました。当日は日柄もよく、お宮参りの家族連れで境内は賑わいをみせていました。眼鏡碑は参道からほんの僅か脇道に逸れた二十五丁橋袂に献納されています。静寂な雰囲気にも包まれながら式典は厳かに斎行され、神職の祝詞奏上、玉串奉奠に続き、参列者一人ずつ玉串を捧げ眼鏡の功德に感謝し生業繁栄を祈念しました。最後に神職より「神様のご加護のもと皆様の商いのますますの隆盛を祈念します」と諭され感謝祭は滞りなく終えることが出来ました。



眼鏡祭斎行

## 第29回 東海眼鏡フォーラム

# 「認定眼鏡士の貴方が眼鏡作製技能士になる為には」 ～ 眼鏡作製技能士制度の概要と将来の課題 ～

2021年10月5日(火) 第29回（通算第36回）東海眼鏡フォーラムが午後2時より、名古屋市中区栄の東京第一ホテル錦にて開催され、東海4県下の組合、卸商社、メーカー、ご来賓の63名が参加されました。

フォーラムは岐阜県眼鏡商業協同組合の木方篤志青年部長の司会で開会。開会にあたり平岩代表幹事より挨拶がなされフォーラムが開講されました。

### ◇講演第一部

「認定眼鏡士の貴方が眼鏡作製技能士になる為には」

眼鏡技術者国家資格推進機構  
代表幹事 岡本 育三 氏

### ◇講演第二部

「レンズ会社4社の最新ニュース」

- ①HOYA(株)ビジョンケアカンパニー
- ②セイコーオプティカルプロダクツ(株)
- ③(株)ニコンエシロール
- ④東海光学(株)

### ◇講演第三部

「機器メーカー2社の最新ニュース」

- ①(株)トプコン・エシロールジャパン
- ②(株)ニデック

## § 主催者挨拶 §

東海眼鏡協議会 代表幹事

愛知県眼鏡小売商協同組合 理事長 平岩幸一氏

コロナ禍の中で、業界では眼鏡作製技能士の創設が厚生労働省より認められるという画期的な出来事がありました。本日は岡本推進機構代表幹事にご講演いただきますが、公の場でのこうした説明は今日が初めてです。本日は東京から日本眼鏡関連団体協議会の白山聡一代表幹事にもお越しいただきました。注目の一件であり、しっかりお聞きいただきたいと思います。また当協議会では、(株)メニコン創業者会長・田中恭一様の申し出を受けまして、眼鏡関連技術の活性化に繋がるアイデアを募集する田中恭一オプティカルアワードを創設し、現在募集を受け付けています。今後、新型コロナウイルスの影響はどうなるか分かりませんが、感染拡大という予期しないこともありながら国家資格が実現できたことは、あらためて岡本推進機構代表幹事にお礼を申し上げます。

## 令和5年度新春互礼会のご案内

主催 東海眼鏡協議会

2023年1月17日(火) 午後4時半より 東京第一ホテル錦

第2回 田中恭一オプティカルアワード（TOA）授賞式も開催予定

## 愛知県眼鏡小売商協同組合

### ～愛知県政150周年記念感謝状贈呈団体に選定されました～

当組合が愛知県行政の推進や産業の発展などに功績・功労ある団体と選定され感謝状が贈呈されました。

【県政150周年記念式典】 令和4年11月27日(日)

愛知県芸術文化センター 愛知県芸術劇場大ホール

## ○ ○ ○ ○ ○ 第 26 期 通 常 総 会 ○ ○ ○ ○ ○

5月17日(火) 午後3時から 名古屋都市センター14階 第一会議室

組合員総数50人 出席者10人 委任状24通  
 司会：宇佐美太朗専務理事  
 第1号議案 2021年度事業報告・収支決算書  
 承認の件：承認  
 第2号議案 2022年度事業計画・収支予算書  
 承認の件：承認  
 第3号議案 組合賦課金・徴収方法の件：承認  
 第4号議案 借入金残高最高限度額決定の件：承認

### ●理事長挨拶

本日は総会へのご参加に感謝申し上げます。コロナ禍も3年目となり、未だ予断を許さないものの、ようやく皆さんの顔を見ながら総会ができることを嬉しく思います。昨年国家資格が発足し、今は試験の最中ですが、8月には実技試験が控え、また7月には特例講習会も実施されます。新しい資格者の誕生を皆さんとともに喜びたいと思っています。新しい小売団体も設立の準備が進んでいます。

コロナ禍の停滞した経済の中でうまくいかないところもあると思いますが、かつて景気の良かった頃に戻ることはないでしょう。しかし資格制度の発足に伴い、生活者により必要な眼鏡を提供できるシステムを模索する責任があります。



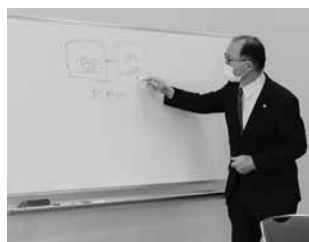
挨拶をのべる平岩理事長

各県単位ではありますが協同組合の使命もあると思うので、今後は若い世代に切実に呼びかけていきたいと思っています。今日は組合の総会ということで、皆さんのご了解を得て、また一年事業に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

### 総会を前に講演会を開催

「インボイス制度の概要」  
 ～消費税の軽減税率制度・適格請求書保存方式～

総会を前に午後2時から税理士の清水英文氏（清水英文税理士事務所）を講師に招き、令和5年10月1日からスタートするインボイス制度について、眼鏡小売店を事例にするなどとても分かりやすく講演をしていただきました。



インボイス制度について講演する清水税理士

### 石川副理事長をねぎらい

長年、愛知県眼鏡小売商協同組合副理事長を務められた石川洋一氏（名古屋市中川区メガネの太陽堂）が副理事長を退任することとなり、平岩理事長より感謝状と記念品が贈呈されました。長年にわたり、大変お疲れさまでした。なお、石川副理事長の退任に伴い、宇佐美太朗専務理事が副理事長を兼務することが決まりました。



石川副理事長（左）を労う平岩理事長（右）

## 東海眼鏡協議会 新春互礼会・第1回TOA授賞式典

東海眼鏡協議会（平岩幸一代表幹事）主催の新春互礼会が、2022年1月18日（火）午後4時から名古屋市中区栄の第一東京ホテル錦「アンビオ」で開催されました。

また、第1回田中恭一オプティカルアワード（TOA）授賞式典も併せて開催され、受賞者6人を表彰、受賞者による発表会も行われました。



東海眼鏡協議会  
平岩代表理事

### ～ 平岩代表幹事挨拶 ～

コロナ禍により昨年は新春互礼会が開催できなかったが、今年皆さんの元気な顔を拝見できてうれしく思う。昨年8月には悲願の国家資格が実現した。前代表幹事の津田氏をはじめ多くの方にご尽力いただいた。大変なのはこれからで、認定眼鏡士も講習会を受講しなければならず、日本眼鏡技術者協会では各団体やメーカーの力を得ながら学科・実技試験の準備を進めている。今回は恒例のアイバンク目録贈呈式のほか、第1回TOA授賞式典を開催する。業界の刺激になるアワードであり、今回は受賞者の研究成果を発表する。実に6年超しの実現となり、ここに至るまでの皆様のご協力に感謝する。

### ◎来賓祝辞

#### ◇衆議院議員・吉田統彦氏

眼鏡作製技能士ができたことは大変喜ばしいことで、10年程前にこういう制度があることを話させていただいた。確りした技術を持った人たちが認められないのはおかしいことで国家資格として評価されることはうれしいこと。今後継続した受験者の数が大事になってくる。

#### ◇(公社)日本眼鏡技術者協会

顧問 津田節哉氏

長年にわたり日技協、推進機構に携わってきたが、昔タニザワという卸商社があり、『タニザワフレンドリー』という勉強会があり、その懇親会の時に占い師を呼んだことがある。その時の占い師に「あなたはかなわぬ夢を抱いている」と言われた。曲がりなりにも眼鏡技術者の国家資格ができた。眼鏡作製技能士の国家資格者だけがいる店ばかりになるのが望みであり、そのためには相当なPRが必要になってくる。

#### ◇(公社)日本眼鏡技術者協会

会長 木方伸一郎氏

寅年にちなんで“トライ”していく年でもある。昨年、この時期に国家資格の指定試験機関のトライを続け、多くの人のご理解とご協力により指定試験機関に認定された。これから公正・公平な試験を行っていくわけだが、その過程において眼科医会と定期的にコミュニケーションを行うことになっている。眼科医会との信頼構築にトライしていきたい。

#### ◇名古屋眼鏡㈱

代表取締役社長 小林成年氏

先ほど来、眼鏡作製技能士の話が出ているが、生活者にとって快適な視生活を提供していくために、これからは大変だと思っている。実践していくのは眼鏡業界の皆さんということになる。そのために業界の一致団結した力が大事だと思っている。



## 第1回TOA授賞式典

日本で初めて角膜コンタクトレンズの実用化に成功し、その後株式会社メニコンを創業した株メニコン会長の田中恭一氏より「眼鏡関連技術の発展、人材育成に寄与したい」との申し出により、田中恭一オプティカルアワード「TOA」が創設されました。眼鏡関連技術開発の活性化を目指して、実現の可能性ある発想などを募集し、顕彰するものです。



挨拶する田中恭一会長

### ～ 田中恭一氏挨拶 ～

昨年8月、眼鏡士の国家検定試験がようやく認可された。実は70年前から私はこれを提唱していた。皆さんの中には、まだ生まれてない方も多いかもしれないが、そういう時代から眼鏡の作製には資格と制度が必要だとずっと思っていた。そしてそのためにはまず、どうやって勉強をするのか？当時はまだ、そういう考えを持つ人は少なく、日本では東京の白山さんや名古屋の森さんとか、そうした代表的な方たちくらいで、彼らは既に欧米の学校なりに視察に行かれていた。丁稚奉公のように、小僧が技術を覚えるのではなく、きちんと学校で勉強して覚える姿を目の当たりにして、日本でも一日も早くそうしたものができないかと念願していた。名古屋でも眼科医の長屋先生と一緒に海外に同行して、現地の学校の方々と話しをした。長屋先生は厳しい方だったが、我々と一緒に行動してそういうものが良いものだとして理解してくれた。そうした過去の色々な経緯や努力があり、今回ようやく眼鏡士が国家資格に認定され、非常にありがたいと思っている。私も昭和21年に老舗眼鏡店の玉水屋に勤めるようになって、眼鏡に対してすごく興味を持つようになった。終戦当時、まだメーカーや機械もない時代だったが、ネジひとつまともにはまらない、今思えばびっくりするような商売をやっていた。メガネにはまだまだたくさんのアイデアがあり、改良できると確信している。ただそういうアイデアを持つ人は、案外自分でコツコツとやっているもので、それに賞を与えて盛大に認めていこう、ということで、今回のアワードとその表彰に至ったわけである。

TOAはフレーム、レンズ及び関連品ならびに加工機器、検査機器に関する斬新で革新的なアイデアを対象として昨年9月1日から10月31日の機関で作品を募集（個人のみ。法人は不可）。その中から同協議会内に設置されたTOA運営委員会がエントリーに基づく書類審査と学識経験者の意見を参考に各賞を決定した。今回は大賞（100万円）は該当しなかったものの、各受賞内容は別記の通りとなった。



第1回TOA各受賞者と、田中会長（中央左）と平岩代表幹事（中央右）

### ■入賞（10万円）

- 多田羅 康孝 氏（奈良市／DEER GLASSES）  
標題：「店舗でお客様に合わせたフレームを仕上げる」そのネットワークの可能性
- 乙部 圭子 氏（横浜市／オプティックオベロン）  
標題：「収納力抜群の見せる引き出しフレームキャビネット」

### ■優秀賞（30万円）

- 丹羽 健二 氏  
（岐阜県各務ヶ原市／株ウカイメガネ 岐阜県メガネ研究会）  
標題：「テンブル折り畳み時に突起物（ダンパーヘッド）が飛び出しレンズに傷をつけない装置」
- 梅田 千江 氏（岐阜市／株堀江メガネ）  
標題：「実際の傾斜角を簡単に測る道具」

### ■奨励賞（10万円）

- 神保 徹 氏（川崎市／株ジンボーJ-EYE店）  
標題：「波面収差解析による器質的両眼視網膜像シミュレーター・ソフトの開発」
- 島野 衣美 氏（浜松市／株アイズ）  
標題：「加工補助手袋」  
標題：「LEDドライバー」

## 委員会報告

### 愛知県眼鏡公正取引推進委員会 ～新聞広告・折り込みチラシを募集しています～

平素は公取推進委員会にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

委員会では健全な眼鏡業界を推進すべくユーザーに安心して眼鏡をお求めいただけるよう定期的に新聞広告・折り込みチラシ等の審査会を開催し、不当表示の恐れのある事案については眼鏡公正取引協議会に申告しています。価格高騰や経済が不安定な中、一部の業者の不祥事が業界全体に悪いイメージを与えることもあります。我々が審査している主な不当事例は、有利誤認（価格や取引条件に関する不当表示）、優良誤認（品質・規格等に関する不当表示）、おとり広告、原産国不表示、二重価格表示、商品品番・材質・規格の説明不十分、不利な事項の説明不十分です。

ネットの普及等により各種広告・折り込みチラシ等は減少傾向ですが、県内広範囲からの眼鏡店、眼鏡企業の新聞広告・チラシを常時募集しております。下記住所までお送りいただきますようよろしくお願い申し上げます。

#### ○新聞広告・チラシ等の送付先

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-4

メガネの宇佐美 宇佐美太朗宛

※発送費用を後日郵便切手でお返しいたします。

※送っていただいたチラシ等のご返却できませんので予めご了承ください。

※チラシに①発行年月日②媒体名③地区名（市区町村名）をご記入ください。

## 理事会報告

#### 第26期 [第7回]

4月19日(火) 午後2時 名古屋都市センター  
出席者6名 委任状4名

#### ①総会の準備

- ・2021年度組合事業及び収支決算書報告の承認
- ・2022年度事業計画・収支予算案の承認
- ・組合賦課金徴収方法、借入金残高最高限度額の承認
- ・講演会等、総会のその他詳細の承認

#### ②共同仕入事業

仕入奨励券の結果と年間仕入金額の報告

#### ③事業復活支援金の報告

#### ④その他・報告事項

1. 組合員の移動についての報告
2. 「総会報告書」の発送についての報告
3. 日本眼鏡技術者協会愛知県支部より2021年度事業・収支決算報告、2022年度事業計画・収支予算案報告書を会員に発送する旨報告。
4. 日本眼鏡販売店連合会愛知県支部より役員改選と総会を書面にて行う旨の報告。

#### 第27期 [第1回]

5月17日(火) 午後1時 名古屋都市センター  
出席者8名 委任状2名

#### ①通常総会の詳細の確認

#### ②新副理事長選出の承認

#### ③新広報委員長選出承認の件

#### 第27期 [第2回]

7月19日(火) 午後7時 名古屋都市センター  
出席者4名 委任状5名

#### ①東海眼鏡フォーラム

講演内容「眼鏡作製技能士誕生に伴う新団体設立について」の決定。当日午前眼鏡感謝祭を開催。懇親会中止を決定。

#### ②共同販促事業

1 店舗につき1万円の販促券発行の承認。

#### ③その他・報告事項

1. 公正取引委員会の表示審査会報告
2. 第2回田中恭一オプティカルアワード開催の説明。

## 第27期 [第3回]

## ■組合員の異動

9月20日(火) 午後7時 名古屋都市センター

出席者6名 委任状3名

## ①東海眼鏡フォーラム

内容と役割分担の確認。

## ②共同販促事業

すでに配布された販促券の確認。

## ③共同仕入事業

今年度の共同仕入高の途中報告。

## ④新春互礼会

会場の予約状況とスケジュールの確認。

## ⑤その他・報告事項

1. 公正取引委員会よりチラシ広告募集の呼びかけ
2. 日本眼鏡技術者協会愛知県支部と日本販売店連合会愛知県支部より今後の活動の方向性についての報告
3. TOA運営委員会より  
第2回オプチカルアワードの応募状況報告

お く や み



## 編 集 後 記

OPTニュースあいち第73号をご覧いただき誠にありがとうございました。今号より編集を担当することになりました鈴木雅博（稲沢市／鈴木時計店眼鏡部）と申します。前任の石川編集長より発行担当を引き継ぐにあたり、これまでのOPTニュースあいちを読み返してみました。組合事業や業界ニュース、時節柄の出来事など分かりやすく、そして親しみやすい紙面作りを長年にわたり携われ、前石川編集長のOPTニュースあいちへの並々ならぬ思い入れを感じました。私も読み手の立場になった紙面づくりを心掛け皆様へお届けできればと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今号の発行にあたり、組合理事役員の皆様と組合事務局、興栄印刷(株)佐賀様にご協力を頂きありがとうございました。また、中部時眼宝飾新聞社 内堀氏には資料提供を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

